

# 埼玉連だより

## 第 126 号

一般社団法人 埼玉県子ども会連合会  
 発行責任者 大 鹿 良 夫  
 編集 広 報 委 員 会  
 事務局 さいたま市浦和区北浦和5-6-5  
 埼玉県浦和合同庁舎別館内  
 TEL (048) 822-8621



長瀬の紅葉

### 目次

- ・ 青少年指導者養成講座…………… 2
- ・ ジュニア・リーダー上級  
 研修会を終えて…………… 3
- ・ 地域の子ども会活動4〜5  
 育成者研修を終えて…………… 6
- ・ 事務局だより…………… 6
- ・ 編集後記…………… 6

# 青少年指導者養成講座

担当副会長 林 昌己

青少年指導者又は青少年教育担当者として、青少年の地域活動の重要性を理解するとともに指導上の基礎的な知識技術を習得し、資質の向上を図るために全4回開催され、会場での受講内容をローテーション化し受講生にとつて同一会場で違った内容を受講できるように工夫した成果として延べ30名の受講生が参加してもらえるようになりました。

第1回目は、例年ですと長瀬元氣プラザにての野外炊事でのカレーが定番でしたが、堀口先生の熱望により、ダッチオーブンでの海老ピラフ作りに挑戦しました。会場は、元氣プラザが食材持ち込みができない為、長瀬カヌー教室の野外炊事場を借りて実施しました。食材・調理道具等は持ち込んでの研修です。受講生もカレー作りと違う、ダツ



チオーブンでの効率の良い調理法に驚き新たな発見に感動しておりました。午後は、元氣プラザに戻り久保先生より「少年教育の意義」について先生の愛蔵の書物を基に講義が行われました。また、合間に出された先生の漢字当てクイズも面白かったです。

第2回目は、加須元氣プラザにおいて、鈴木先生より、「話し合いの進め方」について、鈴木先生の作詞作曲の歌をギターを奏でながら講義していただきました。午後は、朝武先生からは音楽に乗っての先生が振り付けを考えたレクリエーションのダンスの実技とカレーライス食材を集めるカードゲーム等を行いました。

第3回目も、ウェスタ川越で川本先生より「子どもを取り巻く課題」について先生の教員を目指した話から指導者

としての役割と機能について、午後は、竹田先生より低コストの材料での折り紙やブーメラン・こま・色合わせパズル等の実技講習がありました。

第4回目は、浦和合同庁舎別館にてかるたの抽選会の午後利用して、多くの受講生に中川先生から「子どもを取り巻く課題」についての指導者の種類と任務について講義がありました。

役員をやって貰っているだけでも大変なのに、研修に派遣できないという考えもあるが、井の中の蛙ではなく、外に出て他の会員と触れ合い、新たな情報を得たり、理論を研修することは、自分たちの活動を振り返ることの良ききっかけとなり、子ども会活動に対しての活力につながると思います。研修会に参加された人たちの感想には来てよかったとの感想が大変多く、地元での子ども会活動の活性化の発信元になれるよう期待したいと思います。



# ジュニア・リーダー上級研修会を終えて

つそくためしてみようと思いが、私の成長にかかわってくれた全ての人たちに感謝しています。

修で学んだことを、これからもいかしていきたいと思えます。

(伊奈町 佐々木健太)

(行田市 加藤貴大)

●今回、上級研修を受けられて、様々な市町村のジュニア・リーダーと交流することができ、仲良くなれてよかったです。講義やレク、野外活動を通して、ジュニア・リーダーに大切なことを学ぶことができ、本当によかったと思います。

り成長出来た気がします。この経験をしっかりといかしていきたいと思えます。そして、これからもジュニア・リーダーとして学び成長していきたいです。

(八潮市 栗林統也)

●I期〜III期の間に、私はジュニア・リーダーをやったことで、最も必要なことを学べたと思います。この研修を糧にして、私は自分の地区のところに戻った時、しっかりと研修を受ける前の私より成長していると思う。私はこれからもっとっと良いジュニア・リーダーになっていこうと思えました。

皆で考えてやってみると意外に楽しく、新しい発見ができました。楽しみながら学ぶこともできました。自分の世界を広げることのできた貴重な上級研修でした。

(白岡市 大塚葉月)

●同じジュニア・リーダーの仲間と考え、助け合いながら履修できていったと思います。また、人の話し方、まとめ方ができきました。今度は自分の地区で、この上級資格取得研修で学んだことを発揮できるように、たくさんの方に参加していきたいと思えます。

●今回の上級研修で、今までとは違った体験ができたので良かったと思いました。また十二月に地区のクリスマス会があるので、今回の経験をいかしていこうと思えました。

(上尾市 本橋沙耶)

(朝霞市 富樫瞭詠)

(さいたま市 羽田真帆)

●ジュニア・リーダー上級研修を通して、自分自身しっかりと成長出来た気がしますが、今は来て良かったと自信を持って言えます。

●この研修会で、以前とは全く別の自分を手に入れることができ、人間的にも性格的にも大きく成長できました。いろいろな地域のレクを知ることができたので今度人前で

●ジュニア・リーダー上級研修を通して、自分自身しっかりと成長出来た気がしますが、今は来て良かったと自信を持って言えます。

●この研修会で、以前とは全く別の自分を手に入れることができ、人間的にも性格的にも大きく成長できました。いろいろな地域のレクを知ることができたので今度人前で

●ジュニア・リーダー上級研修を通して、自分自身しっかりと成長出来た気がしますが、今は来て良かったと自信を持って言えます。

●この研修会で、以前とは全く別の自分を手に入れることができ、人間的にも性格的にも大きく成長できました。いろいろな地域のレクを知ることができたので今度人前で

●ジュニア・リーダー上級研修を通して、自分自身しっかりと成長出来た気がしますが、今は来て良かったと自信を持って言えます。

●この研修会で、以前とは全く別の自分を手に入れることができ、人間的にも性格的にも大きく成長できました。いろいろな地域のレクを知ることができたので今度人前で

●ジュニア・リーダー上級研修を通して、自分自身しっかりと成長出来た気がしますが、今は来て良かったと自信を持って言えます。

●この研修会で、以前とは全く別の自分を手に入れることができ、人間的にも性格的にも大きく成長できました。いろいろな地域のレクを知ることができたので今度人前で

●ジュニア・リーダー上級研修を通して、自分自身しっかりと成長出来た気がしますが、今は来て良かったと自信を持って言えます。

●この研修会で、以前とは全く別の自分を手に入れることができ、人間的にも性格的にも大きく成長できました。いろいろな地域のレクを知ることができたので今度人前で

●ジュニア・リーダー上級研修を通して、自分自身しっかりと成長出来た気がしますが、今は来て良かったと自信を持って言えます。

●この研修会で、以前とは全く別の自分を手に入れることができ、人間的にも性格的にも大きく成長できました。いろいろな地域のレクを知ることができたので今度人前で

●ジュニア・リーダー上級研修を通して、自分自身しっかりと成長出来た気がしますが、今は来て良かったと自信を持って言えます。

●この研修会で、以前とは全く別の自分を手に入れることができ、人間的にも性格的にも大きく成長できました。いろいろな地域のレクを知ることができたので今度人前で

●私は、この三つの研修を通して、ジュニア・リーダーの責任と、ジュニア・リーダーと子ども会の関係について学ぶことが出来ました。この研

●先生方からの素晴らしいお話を聞いて、深く学ぶことが出来ました。この経験を地域のJLの活動にいかし、さらに考えを深めていこうと思えます。

(川口市 富田詩織)

(伊奈町 齊藤昌紀)

●私は、この三つの研修を通して、ジュニア・リーダーの責任と、ジュニア・リーダーと子ども会の関係について学ぶことが出来ました。この研

●先生方からの素晴らしいお話を聞いて、深く学ぶことが出来ました。この経験を地域のJLの活動にいかし、さらにさらに考えを深めていこうと思えます。

### 鶴ヶ島市子ども会 育成連絡協議会

鶴子連主催で8月9日(水)「かるたの地めぐり」を鶴ヶ島市教育委員会後援にて行いました。

鶴ヶ島市にはご当地かるたとして「未来を拓く つるがしま郷土かるた」があり、小学校での親子レクリエーションやかるた大会等で活用しています。昨年度、「長く活用できるかるた」にするために一部を改定しました。

今回はそのPRも兼ねて、改訂した札が点在する、鶴ヶ島市の西部、雑木林、農業地帯、住宅地が混在し、鶴ヶ島の原風景を残す「高倉地区」をめぐりました。

各かるたの札の地ではジュニア・リーダーが札についての説明・解説をし、子どもたちは耳を傾けながら、かるたの絵札と見比べたりしていました。

また、「高倉獅子舞」を行う日枝神社では市の文化財担当の方から獅子舞の歴史や、

獅子の踊りにストーリーがあること、よく見る獅子舞と高倉の獅子舞との違い等を写真や実際の飾りを見ながら解説して頂きました。

ゴール地点となった「鶴ヶ島市農業交流センター」ではセンターの方の引率で施設の説明をして頂き、子どもたちは農業用具やピザ窯に見入っていました。

また、高倉ふるさとづくりの会の方からも、かるたの札になっている「飯盛川」の護岸工事をした事で水辺の生き物が戻ってきた事、「おかねが井戸」の水が少なくなってしまう理由、「市民の森」が老齢化シカラスのねぐらに



なってしまう事、改善していくためにどのような活動をしているのかをお話頂き、自然を残していくことの難しさを考えさせられました。

この夏一番の暑さとなった中での開催で熱中症の心配もありましたが、木陰の涼しさ、カプトムシが目の前に落ちてくるハプニング等、子どもたちにとって楽しい夏の1日となったようでした。

### 八潮市子ども会 育成連絡協議会

#### 「水辺の楽校夏まつり」について

平成27年5月17日、一級河川・中川の中川やしおフラワーパークに隣接する下流域に中川やしお水辺の楽校(みず

べのがっこう)が開校いたしました。

中川の潮位による水位の変化を堰で調節する仕組みが特徴で、カヌー教室を開いたり、水辺遊びが楽しめるほか、原風景としての屋敷林を生かした「中の島」では、キャンプや散策が楽しめるようになってきているなど、環境学習やリクリエーションの場としての機能を備えています。

八潮市子ども会育成者連絡協議会では、この「水辺の楽校」を利用していろいろな事業を立ち上げました。

過日行われました水辺の楽校夏まつり「親子ラジオ体操



&さかなのつかみ取り」では、幼児から小学生を中心に保護者・役員計250名が参加しての行事となりました。

水路の水を抜き、上流から100M程下流まで、ぬかるんだ川底を歩いていく体験は、子どもたちにとって初めてづくし。ひざ下くらいの深さの場所、水面から小魚が驚いて飛び跳ねる様子に、子どもだけでなく親も泥んこになりながら歓声を挙げ、網で魚を取っていました。

こい・ふな・ぼら・はぜ・エビなど、中には40cm級の魚も取れるなど、子どもたちも大喜びのイベントとなりました。

尚、この水辺の楽校夏まつりでは、暑さ対策でかき氷を販売したジュニア・リーダー、水路内の安全監視をお手伝いいただいた、やしお市民大学OB・交通整理・駐車場役員、八潮市観光協会、八潮市商工会、市子育連役員、大勢のご協力をいただき大成功の「夏まつり」が開催できましたことを感謝しております。

## 会活動

**杉戸町子ども会  
育成連絡協議会**

**古利根川流灯まつり**

〈始まり〉

**〈昭和初期（昭和10年頃）〉**

杉戸町と宮代町との境を流れる古利根川を利用して、両町の商店会が協力し、「流燈會」として、それぞれの店が工夫を凝らした灯籠を川に浮かべ、店のPRを兼ねた祭りとして行われていました。

その後、太平洋戦争により一時中断しましたが、昭和30年代に打ち上げ花火も加えて再開します。しかし、川の兩岸に人家が密集し始め、花火の打ち上げも難しくなってきた。昭和47年以後再び中断しました。

〈復活〉

**〈平成2年〉**

「本町昭和会」(商店会の若手、有志)が中心となり、「流燈祭」として復活しました。誇れるイベントのない状況を憂慮した町民より「特徴のあるイベントで町おこしを」という機運によるものです。

「戦前のような灯籠を作る



う、それも大型のものを」と試作にかかり、畳一枚の大きさで紙は雨に強く、骨組みは突風に耐えることなど、自信作ができるまで、実に8回も実験を重ねました。

〈瞳に映る古利根の灯り〉

**〈現在〉**

現在は杉戸町観光協会が主

催となり「地上に降りた天の川」と題し行われ、今年で第24回目を迎えました。

このお祭りの見所は、日本一の大きさを誇る大型灯籠250基が、約1キロにわたる光の帯となることです。杉子育連では、飾り灯籠300基に子どもたちが思い思いに絵を描いたものをその川べりに連ねることで、幻想的な空間に彩りを添えております。

また、商工会青年部による人力車も運行し、更なる盛り上がりを出し、メインステージでは、バンド演奏、ヨサコイソーラン、ダンス、演武など、盛りだくさんのイベントが催され、フィナーレでは、川の上での幻想的な水上花火が打ち上げられました。

**熊谷市 三尻小学校  
子ども会育成連絡協議会**

7月29日・30日に八幡神社八坂祭が開催されました。子ども会では子供神輿を実施しています。今年は残念ながら曇り空で、時折雨が降る空模様の中行われました。

1日目、行宮にて各地区神

輿への分室祭がスタートです。小雨が降る中の出発となりましたが、雨に負けない子どもたちの元気な「わっしょい」の掛け声で神輿をかつぎ、町内を練り歩きました。身長別に3チームに分かれ順番に神輿をかつぎます。かつがない子どもたちも、一生懸命大きな声を出していました。

休憩場所ので配られるアイスは、蒸し暑さの中、頑張つて神輿をかつぐ子どもたちには、とても美味しく感じられたことと思います。夜は行宮にて各地区の子ども会によりポップコーン・かき氷・綿あめが振る舞われま

す。あいにくの雨でありましたが、多くの子どもたちが集まりました。できるか心配していた花火もでき、びしょ濡れになりながらも楽しんでいました。2日目は、1日目より広い範囲をまわります。協力してくださる地元の方のお宅や企業での休憩では、たくさん飲み物やお菓子などを準備してくださいました。

3時間以上練り歩いた子どもたちも頑張りました。集落センターに戻り、お友だちどうし「楽しかったね」「暑かったね」と楽しく話しながら、みんなで食べるカレーは格別でした。

最後はビンゴ大会です。リイチになってからなかなかビンゴにならない子どももたくさんいて、数字発表するたびに大盛り上がり。ビンゴになり、たくさん景品の中から欲しいものを選ぶその目は真剣そのもの、選んだ景品を見せ合つて、とても嬉しそうな笑顔で袋いっぱいのお土産を手に戻つて行つた子どもたちでした。

2日間のお祭りは、楽しい夏の思い出となりました。



# 育成者研修を終えて

第九回育成者研修会は6月10日岩槻駅東口コミュニティセンターで聖徳大学児童学部准教授神谷明宏先生を迎えて開催されました。

「子ども会の原点を考えると題し、戦前は、地域の共同の仕事を子ども集団に委ねることが数多く存在した。例えば「虫送り」「祭礼の仕事」等挙げられる。戦後は、日本の民主化を進める青少年指導者養成講習会をGHQの指導で全国に開催され、数多くの子ども集団が生まれた。高度経済成長期には、生涯教育の視点から行政指導で青少年団体の育成が図られた。完全学校週五日制の実施により、地域で過ごす子ども達の受け皿として子ども会活動の活性化から家庭による選択の時代へと変化してきている。

また、漫画を例に家族の関わりの変化を次の様に話されたことが印象的でした。戦後復興期は、サザエさんの時代と言われ三世代同居し、夕食時には家族全員が居間に揃い家族集団の結びつきが強い時代である。高度経済成長期は、ちびまる子ちゃん時代と

言われ、三世代同居であるが、曜日や時間によって欠員がで

き家族の個別化の時代、バブル崩壊期には、個人が優先される核家族へと変化してきた

時代。地域社会との関りは隣近所中心の異世代交流から子ども同級生の家族中心の同世代間交流・学校を中心とした文化交流から、地域への所属間の欠如・近所づきあいの

わずらわしさへと変化してきている。子ども集団も異年齢集団・ガキ大将中心のつながりから同年齢集団・お稽古や塾での同級生中心のつながり

から、深いつきあいをしたがない関係へと変化し、子ども会離れが加速化している。その変化に対応しながら、子ども会としての役割について

必要性について語られ、地域の子どもの仲間づくりと組織活動の発展は、同時に地域の



父母や住民の結びつきを生み出す過程となり、安心安全のまちづくりにより寄与できコミュニケーション作りにより子ども会が大

切であることのPRが必要であることや、ジュニア・リーダーが被災地で支援に取り組んだことやシニア・リーダー層による子ども会活動を興していくことについて語られました。

また、キャンプでの野外炊事はカレーライスが定番ですが、しかし、それでいいのかマンネリ化していないか？もっと工夫し、子ども達に取って魅力ある活動をするからこそ、

子ども会の活性化につながり子ども会離れを喰い止められるきっかけ作りのためにも原点に立ち返ることが必要であることを話された事は大変印象的で心に残る講演でした。

事例発表は、熊谷市の長井子連、林昌己事務局より「子ども会復活―父親の活動のスポーツ活動・わくわく防災

キャンプ―」の中で父親の活躍場面を取組むことが子ども会活動の活性化につながる。

次に所沢子連、佐藤美幸書記より「地域育成会研修会」について西部地区の研修内容等が発表され各地区の研修活動に参考になりました。

## 事務局だより

(1〜3月の主な行事)

1月6日(土)

・ 賀詞交歓会(木曾路大宮店)

1月28日(日)

・ 安全共済会事務担当者説明会(浦和合同庁舎)

3月11日(日)

・ 第36回21世紀郷土かるた県大会(深谷市総合体育館)

3月18日(日)

第2回かるた県大会実行委員会(浦和合同庁舎)

3月24日(土)・25日(日)

・ J.L.S.Lのつどい2018

●埼玉連創立50周年記念事業  
来年度、埼玉連は創立50周年を迎えます。それを記念して「記念式典」「講演会」「祝賀会」「記念誌発行」の各事業を計画しています。第一回実行委員会が11月4日(土)に開かれ、記念事業の準備がスタートしました。記念式典並びに講演会、祝賀会は、平成30年11月24日(土)に予定されています。

●ジュニア・リーダー表彰  
今年度の「埼玉連表彰規程」に基づくジュニア・リーダーの表彰は、11月現在、9市2町からの申請をうけ、163名のジュニア・リーダーが表彰されました。

引き続き表彰申請を受け付けていますので、ジュニア・リーダーの励みになるようご活用下さい。

## 編集後記

今回は、「地域の子ども会活動」の特集です。夏祭りなど、夏の行事を掲載しました。各子ども会の行事を広報部までどんどんお寄せ下さい。紹介していきたいと思えます。

いよいよ「郷土かるた大会」です。今年度は三月十一日に深谷市総合体育館で行われます。各地区ではすでに熱戦が開始されていると思います。今年も優勝目指して頑張ってください。楽しみにしています。